

## 平成29年度 金泉小学校学校経営方針

### <教育目標>

希望：夢に向かってがんばる子  
共生：助け合い、学びあう子  
個性：自分らしさを出す子

未来に生きる子どもたちに視点をあて、教育目標の具現化を目指し、保護者、地域社会の信託に応えたい。先人が築きあげてきた良き伝統を継承しつつ、様々な課題に対し、職員一人一人の特性を生かし、組織的対応によって課題解決を図っていく教育活動を展開していく。

### <重点目標>

希望：よく学び、よく考えよう！  
共生：よさを見つけ合い、高めあおう！  
個性：元気いっぱい、力を発揮しよう！

- ◎ 一人一人の児童と職員が、「夢＝目標」を共有し、夢の実現に向かって共に行動することにより、安定感、充実感をもって学校生活を過ごせるようにする。
- ◎ 互いのよさを見つけ、認め合い、切磋琢磨して共に成長し高まろうとする人間関係を構築する。
- ◎ 何事にも進んで努力し、自分らしさを発揮できるようにする。

### <基本方針>

- (1) 自ら学ぶ意欲を育み、学力の確かな定着・向上を図る教育を推進する。
- (2) 学びにより獲得した知識や技能を課題解決のために活用し、生活の場で応用する力を育成する指導法の工夫改善を図る。
- (3) 体験活動を重視し、他とのかかわりを通して、豊かな心を育む教育を推進する。
- (4) 一人一人の体力や健康状態を把握して、たくましい心身をはぐくむ取組を推進する。
- (5) 家庭・地域との連携・協力を図る取組を推進する。

### <重点>

- 1 児童の「学び」を支える教育課程の実施
  - (1) 学校の伝統や地域の環境を生かし、「生きる力」の育成を目指す教育課程を編成し実施する。
  - (2) 学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童の実態に即した指導計画となるよう改善を図る。
  - (3) 保護者や地域の人々と目標を共有し、達成状況や取組の適切さについて、適切な学校評価を実施する。
- 2 「自ら学ぶ力」の育成と学力向上
  - (1) 全国学力・学習状況調査、学習指導改善調査、Web配信集計システム等の計画的な活用を基に指導法を検証・改善し、「わかる授業」「考えさせる授業」を推進する。
  - (2) 毎日の授業で言語活動を充実し、主体的・対話的に学ぶ学習を取り入

れ、学ぶ楽しさや深い学びが実感できる授業づくりを推進する。

- (3) 主体的な課題解決に向けて、一人一人に応じたきめ細かな支援を行い、達成感をもたせ、「個に応じた指導」の充実を図る。
- (4) 佐渡学をとおして、自然・歴史・文化を学び、ふるさとへの「夢」と「誇り」をもち、未来を切り拓く力を育てる。

### 3 豊かな人間性の育成といじめを生まない風土づくり

- (1) 自然体験活動やボランティア活動等を重視した道徳教育の充実を図る。「金泉の花咲き山活動」の充実、道徳教育用教材「私たちの道徳」等を有効に活用し、自己肯定感や自己有用感を高め共感的な人間関係を育む。
- (2) 児童に係る情報交換の日常化や、生活指導、子どもを語る会等を機能させ、いじめや不登校等の未然防止に努める。また、いじめ問題対策委員会、不登校・中1ギャップ対策委員会の機能を発揮し、早期発見、即時対応、組織的対応に努める。
- (3) 挨拶運動の奨励などの生活目標に関する取組や、児童が主体となる「いじめ見逃しゼロ強調月間」の取組をとおして、社会性の育成を図る。

### 4 特別支援教育の充実

- (1) 特別な教育的ニーズのある児童について、自己有用感を高める、長所を生かすなどの観点を加えて「個別の指導計画」を作成し、校内委員会を中心に、実践、評価、改善に取り組む。
- (2) 障害の特性の理解や一人一人の違いを認め合う人間関係づくりに配慮した学級経営に努め、児童が成就感を味わい、自己実現が図れるよう支援する。

### 5 健康教育と防災教育

- (1) 生活習慣改善の取組を推進し、自分の健康は自分で守るという自覚と意欲を持たせる指導を充実する。また、走る、泳ぐなど様々な運動に、児童一人一人が目標を明確にした取組ができるよう、組織的・継続的な指導に努める。
- (2) 多様な場面想定での避難訓練を実施し、自然災害等の危険から自らの命を守り抜く主体的な行動力を育成する。
- (3) 協力してより良い生活をしようとする実践意欲を高めると共に、安心して生活できる教室経営に努める。

### 6 家庭・地域との連携・協力

- (1) 授業公開や保護者・地域住民参画型の学習等を推進する。学校の教育活動の成果と課題を共有し、連携して課題解決に当たるようにする。
- (2) 学校関係者評価委員、学校支援ボランティア等の有効活用を図り、教育活動の充実向上を図る。

### 7 多忙化解消の取組

- (1) 子どもと向き合う時間を確保するために、「スクラップ・アンド・ビルド」の視点で、業務の精選・重点化を行い効率化を図る。
- (2) 整理整頓を心がけて気持ちのよい職場環境をつくと共に、働き方を見直し「ワーク・ライフ・バランス」を推進する。
- (3) お互いに気軽に声をかけ合う雰囲気をお互いに大切にし、良好な人間関係づくりに努め、支え合い、補完し合うことのできる雰囲気をつくる。

